



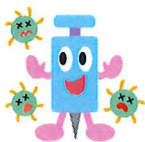
Q：はしか（麻疹）が流行っているようです。

A：はしかは麻疹ウイルスによる感染症で、感染力が非常に強く、空気感染、飛沫感染、接触感染いすれでも感染します。10〜12日の潜伏期のうち発熱で発症し、咳、鼻汁などの感冒様症状がみられ、その後全身に発疹が出現します。発疹ははじめ鮮紅色扁平ですが、次第に隆起、融合して不整形斑状となります。また、発疹出現の前後1〜2日間に口腔（頬）粘膜に1mm程のやや隆起した白い粘膜炎（コプリック斑）が現れるのが特徴です。

麻疹ワクチンは1回では十

分な抗体ができない人や抗体価が下がってきてかかってしまう人がおり、それが流行の原因と言われています。

平成2年4月以降に生まれた人は2回の定期接種の機会があり、しっかり2回受けていけばまず心配はありません。また、40歳以上の世代も自然感染して抗体を持っている人が多く、比較的风险が



低いと考えられますが、20歳代後半から30歳代の人は感染したことがなくて、ワクチンも1回のみの可能性が高く注意が必要です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801